台湾研修

遠野市の令和元年度高校生海外派遣交流事業として、2020 年 1 月 6 日（月）～ 10 日（金）の４泊５日の日程で、台湾研修を行ってきました。

本校からは、阿部光沙季さん、小笠原結奈さん、下関菜桜さん、畠詩奈さん（以上１年生）、菊池妃奈さん（２年生）の５名、遠野緑峰高校からは男子３名の計８名が参加しました。

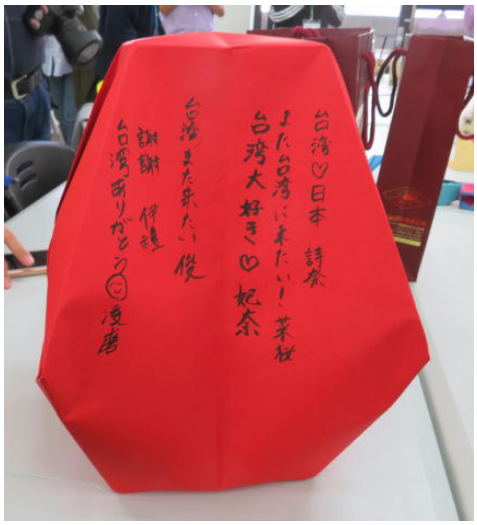
１日目（1 月 6 日）は移動日。仙台空港から約４時間のフライトで台湾桃園国際空港に到着しました。時差は日本時間マイナス１時間です。初めての海外の生徒がほとんどで、楽しみにしている一方、若干の緊張感も見えました。現地に着いた途端、「あったかい～」の声。さすが南国、台湾。滞在中は日中２０℃前後の過ごしやすい気候でした。

２日目（１月７日）午前中は、桃園高級中等学校（以下、桃園高校と表記）さんとの交流を行いました。昨年 12 月 11 日に桃園高校の生徒 33 名が遠野緑峰高校を訪れた際に、本校の５名も一緒に楽しくひっつみ作りを行っています。それから１ヶ月たたない中での再会に一気に雰囲気が盛り上がりました。

桃園高校は、桃園市最大の公立高校で、生徒数は約 2,400 人、クラスは 60 数クラス、広大な敷地内には 18 の建物があり、まるで大学のようなキャンパスでした。

歓迎セレモニーでは、こちらから事前に準備した遠野や学校を紹介したプレゼンテーションを行ったほか、「世界に一つだけの花」を中国語バージョンで歌いました（振り付き！）。桃園高校の生徒さんによる校舎案内も趣向を凝らしたもので、その熱烈な歓迎ぶりに一同感激しました。体験交流では、台湾で有名なスカイランタンを、折り紙でのミニチュアづくりに挑戦しました。桃園高校の生徒さんに教わりながら笑顔あふれる和やかな時間となりました。

楽しい時間はあっという間に過ぎ、やがてお別れの時間。お互いにハグして涙、涙、涙。数時間の交流でここまでの仲になりました。若いっていいな。



２日目午後は、台北市内観光でした。国立故宮博物院、忠列祠（ツォンリエツー）、龍山寺を回りました。

←故宮博物院の３大名品の一つ「翠玉白菜」

↑忠列祠での衛兵の交代式
時計仕掛けのような動きがカッコイイ

↑台北最古の寺院「竜山寺」
人気のパワースポット

合格祈願
何と受験票（本物）が置いてありました

３日目（１月８日）午前中は、国立台湾大学での伊能嘉矩に関する視察研修でした。図書館及び人類学博物館を見学しました。伊能嘉矩の功績の大きさを改めて知り、とても勉強になりました。

３日目午後は、ＪＲ東日本が台北で展開している Atre Japan Rail Café（アトレ・ジャパン・レイル・カフェ）でビジネス研修を行いました。日系企業の海外拠点を実際に目にすることで、遠野を世界に情報発信するにはどうしたらよいのか勉強しました。

その後、台北１０１見学。文字通り１０１階建ての超高層ビルです。高さは５０９.２ｍ！　ビルディングとしては、現在世界で２番目に高いそうです。展望台までエレベーターでたったの３７秒で到着します（エレベーターは日本製)。

４日目（１月９日）は、ネクストコモンズ台湾拠点の方々のご指導を受け、起業家育成プログラム模擬体験をしました。テーマは、「遠野産干しリンゴを台湾に売り込むにはどうする？」。それを探るために、台湾の皆さんに実際に試食してもらって感想をアンケートに書いてもらうことを試みました。華山１９１４という人気商業施設に隣接する広場で突撃調査を敢行しました。中国語はさすがに難しいので英語での会話です（時にはボディランゲージも）。異国の地でアンケートするという結構ハードルが高いと思われたプログラムでしたが、台湾の皆さんはとても優しく接してくれて、緊張していた高校生諸君も次第に緊張が解け、積極的にアプローチしていました。よく頑張った！！

５日目（１月 10 日）最終日。あっという間の台湾研修も終わり。朝６時 15 分にフロントに集合し、桃園国際空港へ。名残惜しい。いつの間にか全員が台湾大好きになっていました。親切な優しい台湾の皆さんとの交流がきっとそうさせたのでしょう。旅行前は少しシャイだった派遣生も、今回の研修でグッと一回り大きく成長できたように思います。これからの活躍がますます楽しみです。期待しています！